

# 植物の生長調節用 組成物及び植物の 生長の調節方法

弘前大学農学生命科学部 高田 晃

## 研究概要

ダイコンなどの葉菜類は越冬後、茎が急激に伸長（抽だい）し、開花・結実する。これらを春先に栽培すると不時抽だいが起きる。抽だいたしたダイコンは繊維質となり、その商品価値はなくなる。

本発明ではジャスモン酸メチル（植物ホルモンの1種、JMe）の化学構造を制御することで、抽だい抑制作用を有しつつも、葉の老化作用が小さい *ent*-JMe を開発した。 特開2011-92072号公報。

## 研究成果

天然型 JMe とその鏡像体 *ent*-JMe をそれぞれ合成し、生理活性を調べた。その結果、両者で抽だい抑制効果（図1）は変わらないが、*ent*-JMe は植物の萎縮や黄化などの副作用（図2）を示さないことが分かった。

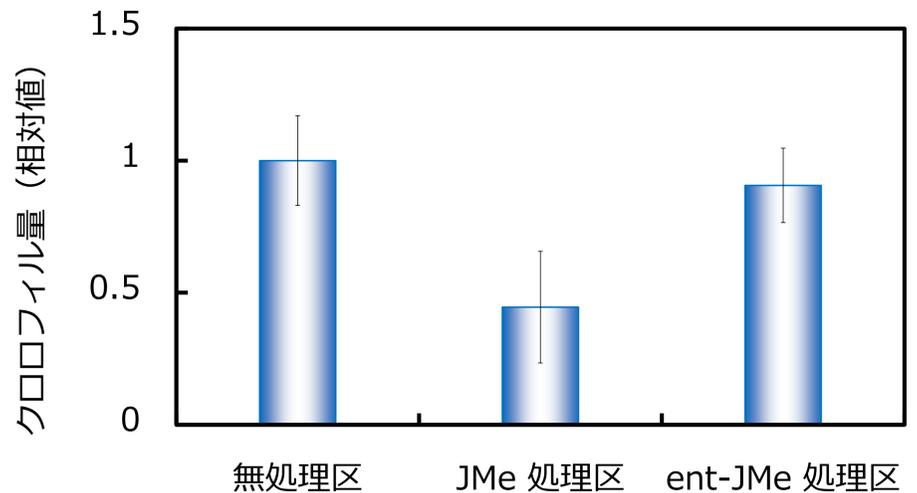
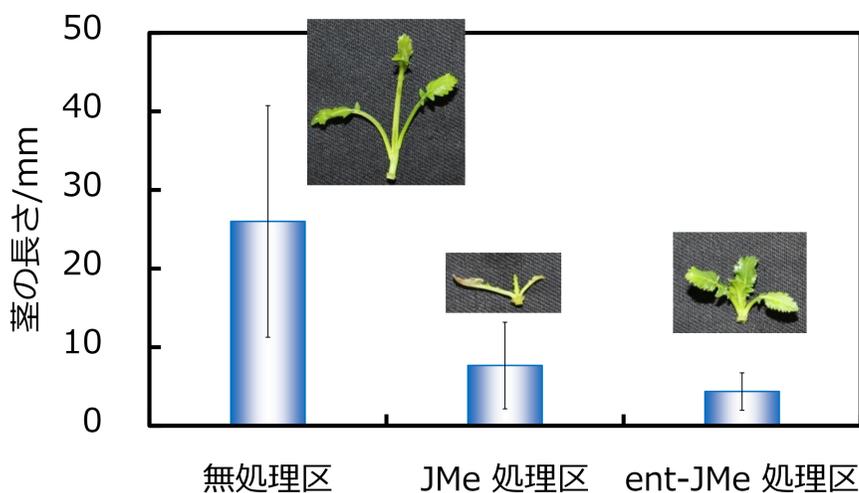
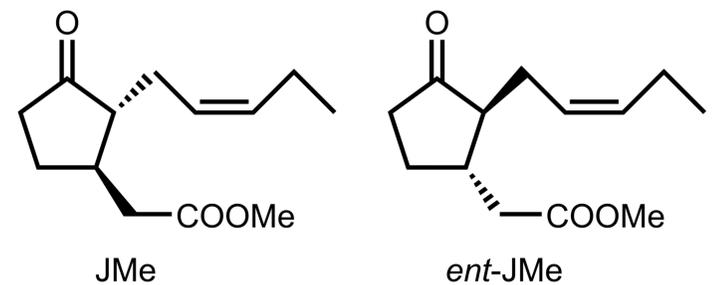


図1 ジャスモン酸メチルの抽だい阻害活性の比較

図2 ジャスモン酸メチルの老化促進活性の比較

今後の展開 現在、散布実験を実施している。

## 【問い合わせ先】

弘前大学 研究・イノベーション推進機構 産学官連携相談窓口

E-mail: [ura@hirosaki-u.ac.jp](mailto:ura@hirosaki-u.ac.jp) / TEL: 0172-39-3176